

附属機関等の会議の概要

附属機関等の名称	埼玉県農業水利審議会
所管担当課所名	農林部 農村整備課
担当名・電話番号	企画担当 ・ 048-830-4345
開催の日時	平成27年7月28日（火） 14時から16時
開催場所	埼玉教育会館 104会議室 （さいたま市浦和区高砂3-12-24）
出席者 （五十音順）	中村好男 会長、永瀬隆弘 副会長 新井保美 委員、神尾高善 委員、蒲生徳明 委員、 小林町子 委員、小柳直昭 委員、佐久間明子 委員、 田中久子 委員、藤原梯子 委員、細野稔 委員、 水上外美子 委員 （12人）
会議の概要	<p>平成26年11月の委員改選後、初めての会議であったため、次のとおり、会長及び副会長の選出、今回任期における調査・審議内容の説明等を行った。</p> <p>1 委員紹介、会長及び副会長の選出 各委員の紹介後、委員互選により、会長に中村委員、副会長に永瀬委員を選出した。</p> <p>2 審議会の内容 今回の委員任期で調査・審議いただく内容等について事務局から説明し、その後、意見交換を行った。</p> <p>（1）調査・審議内容について 今回任期での検討事項である「川の再生」に係る事項として、平成22年2月に当審議会から知事へ答申いただいた『「川の国 埼玉」を実現するための農業水利施設の整備及び管理のあり方』の概要、及び答申に基づき県が行ってきた取組みの状況等について説明した。</p> <p>（2）現地調査予定について 第2回審議会ですべて予定している現地調査の行程及び調査予定地区の概要等について説明した。</p>

会議の概要

(3) 意見交換における主な意見

- ・ 「川の再生」は県土づくりの一環。まずは農業農村をしっかりと支えていくための農業水利施設のあり方を考えることが必要であると考えます。
- ・ 「川の再生」の取組みの検討にあたっては、農業にどのくらい付加価値を付けられるかということについて、意識した方がよいと思う。
- ・ 地域づくりの要点は、人づくり、物づくり、事づくりというのが一般的であるが、それに加えて、環境に優しいエコづくりという視点も必要だと思う。
- ・ 人が水に触れられる環境を作り、それを守っていくとともに、きれいな水を下流に流すという意識付けを行うことが大切だと思う。
- ・ 農家と非農家がお互いに理解し合い、共有の財産として農業用水等を守っていかなければならないと思う。
- ・ 農業水利施設は都市には不可欠な水辺であるので、将来にわたり維持管理がなされるよう、何らかの取組みを始めていただきたい。
- ・ 整備した地区の維持管理が継続されるよう検討いただきたい。
- ・ 核になる人がいれば、その方を中心として活動の輪を広げていければ良いと思う。
- ・ 地域で維持管理に取り組むリーダーの養成等に、力を入れた方が良いと思う。
- ・ 各分野の技術者等の人を育てるとともに、意見を出し合える環境をつくることも大事だと思う。
- ・ 「多面的機能維持支払交付金」等を活用して、地域のコミュニケーションをとる場を設置し、農業水利施設の維持管理活動が持続するよう、地域住民みんなの気持ちを高めていくことが必要だと思う。
- ・ 農業用水においても、国土交通省における「道守」、「橋守」のような、「川守」の制度ができればよいのではないか。

会議の概要

* 上記の他にも、事業に対する質問、現状確認等についての発言もありましたが、省略させていただきました。

3 今後の対応

会長からの指示に基づき、第2回審議会に次の事項を盛り込むよう調整する。

- ・ 答申後に県が取組んだ事業の達成度、メリット及びデメリットについて整理する。
- ・ 現地調査では、地元関係者からお話を伺えるようにする。

